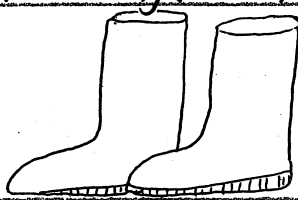


なが ぐつ  
長靴 →



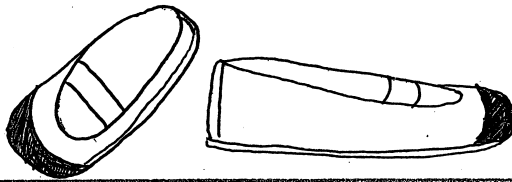
ひざ 膝のあたりまである。  
ふか 深く  
深い靴。

り ニウ  
履行 →



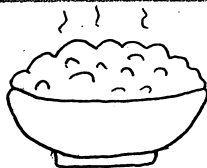
じっさい おこな  
実際に行うこと。

うめ ば  
上履き →



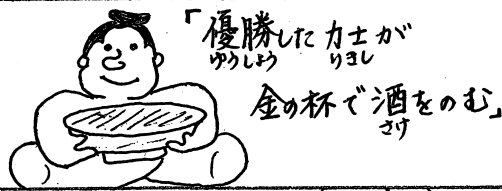
しやうない もち  
室内で用いるはきもの。

いっ ぱい  
一杯 →



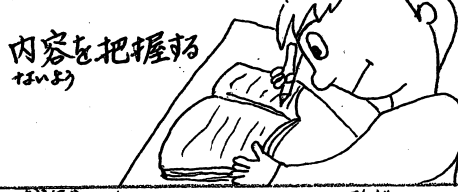
ひつ 一つのさかがきや茶碗が  
み 満ちる分量。または、三満ち  
びんぼう ているさま。

きん さかがき  
金の杯 →



きん 金でできていて、酒を  
の 飲むのに用いるどうぐ。

は あく  
把握 →



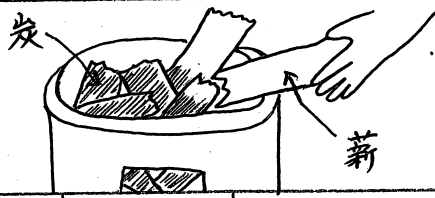
りかい  
しっかりと理解すること

じっ ぱ  
十把ひとからげ" →



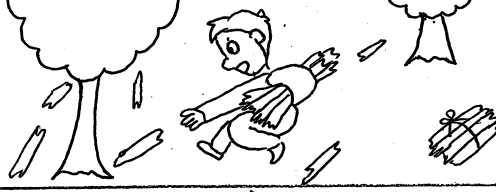
ニま 細かい違いを無視して  
あか 多くのものをひとまとめに扱  
あつ ぶ。

しん たん  
新炭 →



ねんりょう  
たきぎとすみ。燃料。

たき びろ  
新拾い →



たき  
かまどなどで焚く木を  
ひろうこと。

ひ ろう  
疲労 →



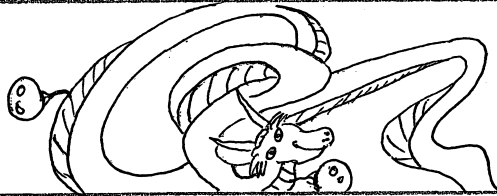
つかれること。  
くたびれること。

き づか  
気 疲れ →



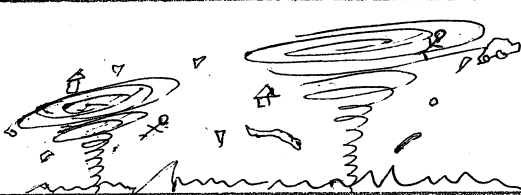
ニニ  
あれニ水と心くぼりをして  
つか  
疲れること。

りゅう じん  
竜 神 →



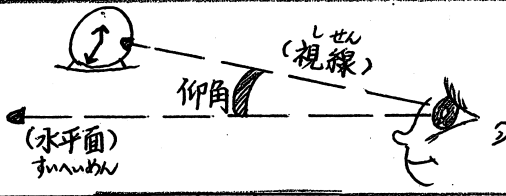
そうぞうじょう どうぶつ  
想像上の動物。た

たつ まき  
竜 巻 →



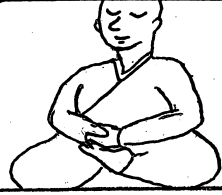
くつき ほそなが つよ じつ  
空気の細長い強い渦  
の一種。

ぎょう かく  
仰 角 →



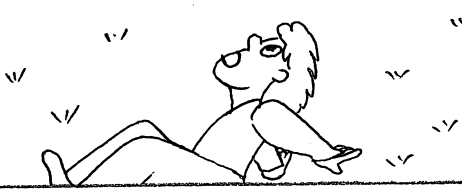
たか とこ 物の  
高い所にある物をみる人の  
視線 といかん  
視線と水平面とのなる角。

しん ニう  
信 仰 →



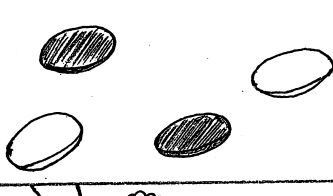
し  
信じたことと、ぶこと。

てん ああ  
天 を 仰ぐ →



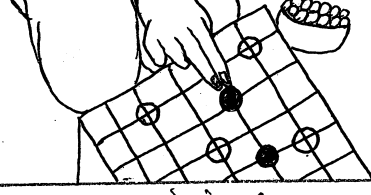
うえ  
上を向く。

いし  
碁 石 →



いし ち えんけい  
碁碁に用いる円形の  
か  
小石な石。

い 碁  
囲 碁 →



碁  
碁をうつこと。

あらし く  
嵐 が 来る →



ほうふう  
暴風雨がやってくる

すな あらし  
砂 嵐 →



さばくちほう ぼせい  
砂漠地方に発生する  
まじろう ほか  
強風。場々しく砂を吹  
キつける。